

情報化施工研修会のご案内 ～ICT建設施工の現地研修～

ICTを活用した新しい施工技術である情報化施工は、施工品質の向上や熟練度に左右されない高い精度の施工などを実現する方法として、更なる普及が期待されています。2013年3月、国土交通省が設置した『情報化施工推進会議』は、「情報化施工推進戦略」を提言しましたが、その中でも「人材育成」が非常に重要であることを指摘しています。

一般社団法人日本建設機械施工協会は、3次元データを利用した建設機械制御等に関する実践的な教育により、情報化施工に対応できる技術者を育成することを目的として、「情報化施工研修会」を開催しております。今回の研修会は下記日程で実施することとしておりますので、研修生の募集についてご案内申し上げます。

記

1. 開催日程：平成27年 10月29日(木)～30日(金)
2. 主催：一般社団法人 日本建設機械施工協会
3. 場所：一般社団法人 日本建設機械施工協会施工技術総合研究所
(静岡県富士市大淵3154)
『情報化施工・安全教育研修センター』
アクセスマップはこちらです。(→) <http://www.cmi.or.jp/cmi/map.htm>
4. 対象：建設現場管理者、建設機械オペレーター、その他マシンコントロール(MC)、マシンガイダンス(MG)、トータルステーション(TS)による出来形管理の体験あるいは習得を希望する方。
5. 研修会のコース

コース名	研修目標	受講費用	備考
実務コース (2日間) 定員:20名	○設計図面を読みMC、MG用データ作成をマスターする ○測量データを利用しデータ作成、出来形管理の基本を習得する ○実機を用いた実習によりMC、MG施工の基本を習得する	一般:51,400円/人	OCPDS認定研修(14unitを予定) ○研修用パソコンの利用(一人1台) ○「研修修了証」を発行 ○(独)雇用・能力開発機構のキャリア形成促進助成金制度に基づき、受講料及び賃金の助成を受けられる場合がありますので、雇用・能力開発機構都道府県センター等でご確認いただくことをお勧め致します。
		会員:41,100円/人	

・受講資格は特にありませんが、「車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習」修了者であれば、施工機械の運転が可能です。

・旧体験コースを既に受講した方が**実務コースを再受講する場合、36,000円/人**で受講できます。

・受講費用には、建機・機材のレンタル費、パソコンの利用、傷害保険、テキストなどの費用が含まれています。宿泊費、食事は含みません。

・ヘルメット、安全チョッキは当方で準備します。なお、実習の際は安全靴の着用をお願いします。

・諸般の事情により内容を変更する場合があります。

・平成27年10月の研修会は、主にニコン・トリンプル機器による研修を予定しております。

・お申し込み後のキャンセルは、開催日の5営業日前までに、担当者へ電話連絡をしてください。左記以降のキャンセルにつきましては、受講費用の返金を行いません。受講者の変更につきましては、開催日の前日まで受け付けております。

6. 研修カリキュラム

第1日目

時間	講義内容
9:45～ 9:55	主催者挨拶 ガイダンス
9:55～ 10:55	基調講演
11:05～ 12:00	情報化施工概論
13:00～ 14:30	情報化施工の 適用場面と実施項目
14:40～ 15:10	情報化施工に 必要な設計データ
15:20～ 17:20	設計データ作成演習 (路線・TIN)

第2日目

時間	講義内容
8:30 ～9:50	情報化施工の デモンストレーション
10:10 ～12:00	情報化施工現場実習 ①ブルドーザのMC /ローバー
13:00～ 16:00	②モータグレーダのMC ③バックホウのMG/TS ④ローラ回数管理 ⑤TS出来形管理
16:00～ 16:30	質疑応答

研修カリキュラムは都合により変更されることがあります。

7. 講師：日本建設機械施工協会、建設機械、測量器械メーカ、ソフトウェアメーカなどの専門家



受講風景



実地研修場所全景

8. お問い合わせ先：一般社団法人 日本建設機械施工協会（担当：森川・荒川）
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8（機械振興会館）
TEL：03-3433-1501 Fax：03-3432-0289
- 又は、一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所
TEL：0545-35-0212（担当：研究第三部 上石・椎葉、総務部 引地）
9. お申込み方法：HPから参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、メールまたはFaxにてお申込み下さい。